

# 平成23年度奈良県学習状況調査 調査結果の概要

## 1 調査の概要

### ○調査実施日

平成23年10月下旬

### ○調査目的

東日本大震災の影響で、文部科学省の全国学力・学習状況調査が実施されないことを受け、本県の教育課題の改善に向けた様々な取組の成果と課題、効果を検証し、教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立や次年度以降の取組に生かすため、県内の児童生徒の学習状況等を調査する。

### ○調査対象及び内容

- ・ 小学校第6学年、中学校第3学年の児童生徒を対象。
- ・ 調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

### ○参加状況

- ・ 抽出対象校公立小学校91校（44.4%）児童数5749名、公立中学校74校（69.8%）生徒数8019名。

## 2 調査の結果について

### <学習に対する関心・意欲等>

「国語、算数・数学の勉強は大切だと思いますか」という質問について、「思う」「どちらかといえばそう思う」と肯定的に答えた児童生徒の割合は、昨年度より増加し、小学校国語、算数で約93%、中学校国語で約87%、中学校数学で約75%となっている。しかし、「国語、算数・数学の勉強は好きですか」という質問について、肯定的に答えた児童生徒の割合は、小学校の算数で昨年度より増加したものの、それ以外は昨年度を下回っている。また、「国語、算数・数学の勉強が好き」な児童生徒の割合が、「国語、算数・数学の勉強が大切」と思う児童生徒の割合を20ポイント以上下回る状況は、昨年度と同様である。

### <子どもの生活習慣>

「家の手伝いをしていますか」という質問について、肯定的に答えた小学校の児童の割合はやや減少しているが、中学校の生徒の割合は、増加している。

### <子どもの考え方>

「学校のきまりを守っていますか」という質問について、昨年度より肯定的に答えた小学校の児童の割合は減少したものの、中学校の生徒の割合は増加している。「友達との約束を守っていますか」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」「学校で友達と会うのが楽しいと思いますか」「新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか」という質問について、肯定的に答えた児童生徒の割合は増加している。

### <子どもの地域での活動及び学習時間等>

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という質問について「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童生徒の割合は、昨年度より小学校では約14ポイント、中学校では約9ポイント増加し、平成22年度調査の全国平均を上回った。

詳細については、別添「平成23年度奈良県学習状況調査回答結果集計」のとおり。